

平成28年度活動報告

江角学びの交流センター

昨年度「地域貢献推進室」を設置して以来、当センターは本学の附属機関として地域貢献活動の主体的な役割を担い、地域社会と本学を結ぶ窓口としての機能を存分に発揮している。その内容は自治体や産業界との連携事業、学生ボランティア活動、地域志向の教育課程の編成等々幅広い内容を含んでいる。

平成28年度は、新たに鹿児島市との包括連携協定および本場大島紬織物協同組合との産学連携協定等に基づいて、従来実施されてきた本学の様々な地域貢献活動が全学的かつ組織的な取組として位置づけられることとなった。

また、当センター規程第7条2項にある「評議員会」も順調に始動した。学長以下の本学評議員の構成メンバーに加えて、地方公共団体および産業界から学外評議員を委嘱し、本学の地域貢献活動およびそれと連動した教育課程について客観的に評価していただき、意見聴取をしている。

1 地域人間科学研究所

①「かごしま学」公開講義・文化講演会

毎年恒例となっている本学の正規授業・地域志向科目「かごしま学」公開講義・本研究所主管の文化講演会は、尚古集成館・関吉の疎水溝・世界文化遺産に登録されて1年が経過したことを受け、登録申請の準備段階から十余年にわたり携ってこられた鹿児島県世界文化遺産総括監・田中完氏に依頼し、登録に至る苦労も含め、この遺産を将来どのように活かしていくべきか。実施状況は下記のとおりである。また、講演内容の詳細については、本誌巻頭の「特別講演」として掲載している。

平成28年度活動報告

演題：世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」

～次世代への継承に向けて～

講師：田中完氏（鹿児島県世界文化遺産総括監）

日時：平成28年6月30日（木）14:50～16:20

会場：本学大講義室（入場無料）

主催：鹿児島純心女子短期大学

主管：江角学びの交流センター・地域人間科学研究所

対象：本学学生・学園教職員・一般

入場者数：約150名（一般25名を含む）

講師プロフィール：

田中完氏

1984年4月、鹿児島県庁に入庁。「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録を目指すきっかけとなったシンポジウムが鹿児島県で2005年7月に開催され、翌2006年度から登録に向けた取組に関わり、今年度で通算9年目。2013年度から世界文化遺産課長、2015年度から世界文化遺産総括監に着任。昨年7月に悲願の世界文化遺産登録にたどり着くことができた今、日本の近代化の先駆けとなった鹿児島を県内外に向けてアピールしていきたいと語る。



②純短「子育て支援」ワークショップと文化講演会

日時：平成28年9月11日（日）13:00～16:00

会場：かごしま県民交流センター（入場無料）

主催：鹿児島純心女子短期大学

主管：江角学びの交流センター・地域人間科学研究所

プログラム：

13:00～13:10 オープニング「こどもバンド」演奏会（大ホール）

- 13:20～14:20 ワークショップ（大研修室3・4）
①吉留早木子氏「リズムあそび」（30分）
②高附恵子氏「親子のふれあいあそび」（30分）
〈①・②入れ替え制〉
- 14:30～16:00 文化講演会（大ホール）
岸見一郎氏「子どもとよい関係を築こう」

入場者数：

ワークショップ：53組の親子（児童73名）

文化講演会：一般150名

託児：48名

講師プロフィール：

吉留早木子氏

鹿児島純心女子短期大学で15年以上、保育士を目指す学生を対象に「リズム遊び」の授業を担当。「純心こども講座」をはじめとする子育て支援講座、幼児の体操指導等、多方面で活躍中。日本キッドビクス協会認定インストラクター。健康運動指導士。

高附恵子氏

国際大学附属幼稚園に27年勤務。保育の場で乳幼児と関わりながら、表現あそびを研究・実践した経験を生かし、現在はふれあい遊びインストラクターとして広く子育て支援の場で活躍中。鹿児島県内外の幼稚園、保育所等での研修のオファーも多数。日本幼児教育研究会講師。

岸見一郎氏

哲学者・心理カウンセラー。日本アドラー心理学会顧問・認定カウンセラー。1956年京都府亀岡市生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程（西洋哲学史専攻）満期退学。京都教育大学、甲南大学、奈良女子大学等で非常勤講師を務めながら、1989年専門の西洋古代哲学（特にプラトン哲学）に並行してアドラー心理学の研究に着手し、アドラーの著作の翻訳に従事する。精神科医院勤務などを経て多くの青年のカウンセリングを行いながら現在、精力的に執筆・講演活動を行っている。

『嫌われる勇氣—自己啓発の源流「アドラー」の教え』（ダイヤモンド

平成28年度活動報告

ンド社・古賀史健との共著・2013/12) は日本のみならず韓国でもベストセラーになっている。続編『幸せになる勇気』(2016/2) も好評。平成28年はNHK 教育テレビ「100分 de 名著」、日テレ「世界一受けたい授業」に出演するなど、日本におけるアドラー心理学ブームの立役者。

著書) 『アドラー心理学入門』(ベスト新書)、『叱らない子育て』(学研パブリッシング) 他、多数。

訳書) プラトン『ティマイオス』、アドラー『個人心理学講義』『人生の意味の心理学』他、アドラーの諸著作。



リズムあそび



親子のふれあいあそび



文化講演会



岸見一郎氏

2 生涯学習支援室

平成28年度「純心市民講座」は、新たに「おもてなし中国語」講座を開講した。また、かごしま県民大学連携講座は「シルバー世代の健康・教養講座」として装いを変え、健康講座を加えるなどして受講生も増加した。各講座の実施状況は表1のとおりである。

想林第8号

平成28年度 純心市民講座実施状況

講座区分	講座名	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
人間大学 (かごしま県 民大学連携講 座)	かごしま学・文化講演会 世界文化遺産「明治日本の産業革 命遺産」 ～次世代への継承に向けて～ 6/30 木曜 14時50分～16時20分	田中 完 (鹿児島県企 画部世界文化 遺産総括監)	一般成人	200名	150名	本学 大講義室 (27-604)
	シルバー世代のための健康・教養 講座 7/9～10/1 土曜 13時半～15時半 (全5回)	河野 一典 進藤 智子 久保田 瑞成 小玉 智治 奥村 和滋	一般の方	20名	延べ92名	かごしま県民交 流センター
外国語講座	英会話 初級 (春季) 5/11～7/13 水曜 18時半～20時 (全10回)	Matthew Watson	16歳以上 の方	10名	11名	鴨池公民館 (第1研修室 A)
	英会話 中級 (春季) 5/10～7/12 火曜 18時半～20時 (全10回)	Brian Pedersen	16歳以上 の方	10名	10名	鴨池公民館 (第1研修室 A)
	英会話 上級 (春季) 5/10～7/12 火曜 18時半～20時 (全10回)	Andrew Daniels	18歳以上 の方	10名	8名	鴨池公民館 (第1研修室 B)
	好っじゃ韓国語 入門 (春季) 5/12～7/21 木曜 19時～20時半 (全10回)	李 賢雄	16歳以上 の方	10名	6名	鴨池公民館 (第1研修室 A)
	好っじゃ韓国語 中級 (春季) 5/11～7/13 水曜 19時～20時半 (全10回)	李 賢雄	18歳以上 の方	10名	11名	鴨池公民館 (第1研修室 B)
	おもてなし中国語 入門 (春季) 5/12～7/21 木曜 19時～20時半 (全10回)	クットウルッ ク東突	16歳以上 の方	10名	3名	鴨池公民館 (第1研修室 B)
	英会話 初級 (秋季) 9/28～12/7 水曜 18時半～20時 (全10回)	Matthew Watson	16歳以上 の方	10名	7名	鴨池公民館 (第1研修室 A)
	英会話 中級 (秋季) 9/27～11/29 火曜 18時半～20時 (全10回)	Brian Pedersen	16歳以上 の方	10名	7名	鴨池公民館 (第1研修室 A)
	英会話 上級 (秋季) 9/27～11/29 火曜 18時半～20時 (全10回)	Andrew Daniels	18歳以上 の方	10名	8名	鴨池公民館 (第1研修室 B)
	好っじゃ韓国語 入門 (秋季) 9/29～12/8 木曜 19時～20時半 (全10回)	李 賢雄	16歳以上 の方	10名	9名	鴨池公民館 (第1研修室 A)
	好っじゃ韓国語 中級 (秋季) 9/28～12/7 水曜 19時～20時半 (全10回)	李 賢雄	18歳以上 の方	10名	6名	鴨池公民館 (第1研修室 B)
	おもてなし中国語 入門 (秋季) 9/29～12/8 木曜 19時～20時半 (全10回)	クットウルッ ク東突	16歳以上 の方	10名	1名	鴨池公民館 (第1研修室 B)
	はじめての英会話 (幼児コース・ 春季) 6/18～7/23 土曜 ①4・5歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 (各コース 全5回)	John Tremarco	就学前の 児童 (4～6歳)	①10名 ②12名	①10名 ②10名	本学 江角学び の交流センター プレイルーム

平成28年度活動報告

外国語講座	はじめての英会話（小学生コース・春季） 6/18～7/23 土曜 ①初心者コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 （各コース 全5回）	Caryn Shaw	小学生	①15名 ②15名	①15名 ② 5名	本学 10号館401教室
	はじめての英会話（幼児コース・秋季） 9/24～10/29 土曜 ①4・5歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 （各コース 全5回）	John Tremarco	就学前の 児童 (4～6歳)	①10名 ②12名	①10名 ②10名	本学 江角学び の交流センター プレイルーム
	はじめての英会話（小学生コース・秋季） 9/24～10/29 土曜 ①初心者コース 9時～9時50分 ②高学年コース 10時～10時50分 （各コース 全5回）	Lee Glenister	小学生	①15名 ②15名	①12名 ② 4名	本学 10号館401教室
生活学講座	親子でクッキング 8/9（火）10時～13時	中馬 和代	小学生と 保護者	20組	14組 36名	本学 調理室 (1号館101教室)
	冬のおもてなし料理 11/26（土）10時～13時	大山 典子	一般成人	20名	19名	本学 調理室 (1号館101教室)

将来大学に求められていることは、働く社会人、子育て中の親、シルバー世代の方等々広く社会人一般の方々の学び直し（生涯学習）に応えられるような大学にしていくことであるとの思いがある。開講科目を常に検討・拡充し、さらに多くの方々の受講に努める所存である。科目等履修生制度を利用すれば、本学の正規授業を一般の方も受講する道が開かれている。将来の大学のあり方も働き方も徐々に変化し、リフレッシュ教育（社会人の学び直し教育）の重要性が再認識されていくのではなかろうか。

ところで「はじめての英会話」や「親子でクッキング」等の講座には、本学の学生たちが、ボランティア・アシスタントとして運営に携わっている。学生たちにとっては専門教育の実践的な教習の役割を果たすとともに、学生の社会活動への参画を促し地域との交流を推進する点で、本学の地域貢献活動の一つとして意義深いものである。今後はさらに学生たちの活発な地域貢献活動を教育カリキュラムの中に位置づけ、地域の発展に尽くす有為な若者を育成する一助となることを願う次第である。

今後とも「純心市民講座」が本学の研究・教育機能を活性化するとともに、市民の生涯学習に寄与し、地域社会の学びの交流の橋渡しとなることを切に願っている。



シルバー世代のための健康・教養講座



冬のおもてなし料理講座

(文責 河野一典)

3 こどもの未来支援室

平成28年度は、「純心こども講座」として、「リズムあそび」「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の講座を企画・実施した。5月から8月の期間に、月1回のペースでの実施となった。開講講座および参加者数等は、「表 平成28年度『純心こども講座』実施状況」の通りである。講師は昨年度と同様、「リズムあそび」吉留早木子氏、「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」榎本容好氏であった。

平成28年度「純心こども講座」実施状況

講座名	回	期日	担当講師	定員	受講者数	会場	
リズムあそび	1	5/21	吉留早木子	30組	36名	26組	本学 体育館
	2	7/9			37名	26組	
	3	8/6			28名	20組	
いろとあそぼう・ かたちとあそぼう	1	5/21	榎本 容好	20組	23名	14組	本学 プレイ ルーム
	2	6/4			21名	13組	
	3	7/9			24名	15組	

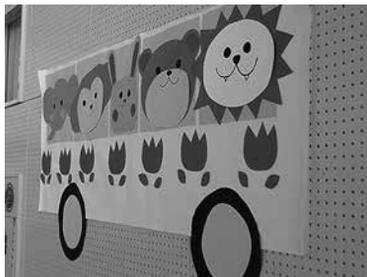
注1) 対象：就学前の幼児（2歳～6歳）とその保護者

注2) 時間：各回ともに午前10時30分～午前11時30分

今年度は学内の事情から、「リズムあそび」と「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の講座を同じ日に開講することとなり、5月21日（土）がそれぞれの講座の開講初日となった。「リズムあそび」の各回のテーマは、「春のえんそく」「夏祭り」「お魚さんとあそぼう」であった。講座は参加者みんなで体を動かす活動と、体を使った好きな遊びを楽しむ

平成28年度活動報告

ことのできるコーナー活動を組み合わせた展開で構成し、季節にあった曲や活動内容を提供できるようにした。「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」は「まちをつくろう」「あめのせかいをたのしもう」「夏祭り」をテーマに活動を展開し、毎回会場は、様々ないろやかたちで溢れた。



「リズムあそび」の様子



「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の様子

平成28年度も「純心こども講座」を無事に終了することができた。昨年度と同様に学内の事情から月1回、各講座3回での実施となり、「純心こども講座」を毎年楽しみにしていただいている受講者の方のご希望に十分に添えない部分もあった。また、「リズムあそび」と「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の講座が同日開催となり、両方の講座を受講しなかったというご意見も複数頂戴した。こうした受講者のご意見からは、「純心こども講座」を本当に楽しみにしていただいていることがダイレクトに伝わってくるため、講座を企画する側だけでなく、指導補助員として講座に携わっている本学こども学専攻の学生たちにとっても大きな励みになっている。

「純心こども講座」は地域との連携の場でもあり、受講者のニーズに
応えていくことは、新たな連携の場の創出という点において、今後更に

想林第8号

必要となってくる。今年度は前年度実施した受講者アンケートでいただいた「もっと回数を増やして欲しい」というご意見を受け、9月に実施した江角学びの交流センター主催の文化講演会において、「リズムあそび」と「親子ふれあいあそび」のワークショップを企画・実施した。この取組みによって、「来年度のこども講座に参加したい」「案内を送って欲しい」といった反応をいただき、「純心こども講座」の新たな受講者層の獲得が期待されるとともに、地域に出かけていく出張型の講座について考えるきっかけが生まれた。これからも地域に寄り添いながら、「リズム」「いろ・かたち」のように愛称で親しまれる講座の提供を目指していきたい。

(文責 森木朋佳)